

NEWS RELEASE

2017年上半期 CM好感度ランキングTOP10

CM総合研究所（東京都港区／代表・関根心太郎）は、2017年上半期（2017年1月度～6月度）の銘柄別CM好感度ランキングTOP10を発表いたします。

【3連覇のau、携帯5強の時代へ】

2017年上半期の銘柄別CM好感度No.1は、3年連続で『au』となった。松田翔太が桃太郎、桐谷健太が浦島太郎、濱田岳が金太郎を演じる「三太郎」シリーズを中心に27作品をオンエアした。今期は学校へ通い出した3人が、授業や部活など学校生活を楽しむ様子をコミカルに表現した学割訴求の作品がCM好感度を牽引した。また、元日からオンエアされた「春のトビラ・やってみよう」篇では、人気のロックバンドWANIMAの歌にのせて、書き初めなどの正月らしいシーンと、和太鼓と三線のセッション、ヲタ芸、居合切りなどに挑戦する三太郎たちのシーンをつなぎ、「やってみよう」という前向きなテーマを表現して高い評価を得た。

2位の『NTT DOCOMO』は、42作品をオンエアして昨年の3位からアップ。堤真一、綾野剛、高畑充希が新聞記者を演じる「得ダネを追え!」シリーズには、近藤春菜、秋山竜次、斎藤司に続き、今期は箕輪はるか、ブルゾンちえみらのお笑い芸人が登場し、個性的な役柄をコミカルに演じてランキングに貢献した。3位の『SoftBank』は21作品をオンエア。今春の学割訴求CMには、「SUPER STUDENT」として転校生役のジャスティン・ビーバーが登場し、広瀬すずやピコ太郎、「白戸家」のお父さんたちと共演して大きな話題を集めた。

4位の『ワイモバイル』は、桐谷美玲とふてニャン、ピコ太郎が“PPAP”ダンスを踊ったり、ふてニャンをDJに、「♪ YOUNG MAN (Y.M.C.A.)」に合わせてGENERATIONSと踊る作品がヒットした。5位の『タウンワーク』は昨年7位からランクアップ。松本人志がさまざまな職業人をコミカルに演じ、「バイトするなら、タウンワーク。」の決めゼリふが定着した。6位の『UQ』は、BGMの「♪ UFO」と『UQ』に掛けて商品名を訴求した。深田恭子、多部未華子、永野芽都が3姉妹を演じ、ガチャピンとムックが両親として出演するシリーズで、初のTOP10入りを果たした。7位は『ジョージア』。2014年から続く山田孝之が出演する「世界は誰かの仕事でできている。」シリーズが老若男女から幅広く支持を得た。

8位の『Amazonプライム』は、昨年大ヒットした赤ちゃんと犬の「ライオン」篇と同様に、小さなポニーと調教師の女性との心の交流を描いた作品もヒット。心なごむストーリーが視聴者から多くの支持を得た。9位の『GALAXY』は自身初、携帯端末としても初のTOP10入りを果たした。BUMP OF CHICKENの「♪リボン」をBGMに使用し、「昨日までを、超えてゆけ」をキーコピーに、山崎賢人がタイムトラベルするシリーズがスタートした。10位は、働けなくなった時のリスクに備える生活保険の『1UP (ワンアップ)』。会社員役の瑛太と菅田将暉が、それぞれ少しずつ成長していくストーリーのシリーズCMだ。サンドウィッチマンの富澤たけしや伊達みきお、ずんの飯尾和樹らのゲストとコミカルな掛け合いを演じて幅広い世代から支持された。

上位にはシリーズCMを展開する銘柄が並び、ゲストがインパクトの強いキャラクターを演じて話題を呼び、お笑い芸人の活躍も光った。また、TOP10のうち、携帯キャリアに格安スマホを加えた5ブランドがランクイン。各社とも旺盛な放送回数、有名タレントの複数起用、コミカルにも情緒的にもストーリーが描けるシリーズ展開の重用、ゲストによる話題性など、「5強時代」の到来を感じさせるランキングとなった。

2017年上半期 銘柄別CM好感度TOP10(全5256銘柄)

総合順位 (前年順位)	企業名	商品名	代表作品名
1 (1)	KDDI	au	三太郎シリーズ：天才浦ちゃん
2 (3)	NTTドコモ	NTT DOCOMO	卓造の新しい家族
3 (2)	ソフトバンク	SoftBank	SUPER STUDENT：転校生
4 (6)	ソフトバンク	ワイモバイル	桐谷とピコ太郎とふてニャン：SIM太郎
5 (7)	リクルート	タウンワーク	松本人志：コーヒーショップ
6 (—)	UQコミュニケーションズ	UQ	家族、だぞっ：JKになる三女
7 (5)	日本コカ・コーラ	ジョージア	山田孝之：おつかれ、俺たち。
8 (4)	アマゾンジャパン	Amazonプライム	ポニー
9 (320)	サムスン電子	GALAXY	昨日までを、超えてゆけ
10 (18)	住友生命	1UP (ワンアップ)	瑛太：試験で1UP

・2017年上半期のCM展開：
全1933社 5256銘柄 1万28作品
(東京キー5局)
・集計期間：2017年1月度～6月度(2017年12月20日～2017年6月19日)
・関東一都六県在住の一般モニター男女3000人の「月例CM好感度調査」の6カ月分より集計。
・企業、銘柄、代表作品名はCM総合研究所登録名称であり、正式名称と異なる場合があります。
・前年順位(—)は前年同期にオンエアがなかった銘柄。

※データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。